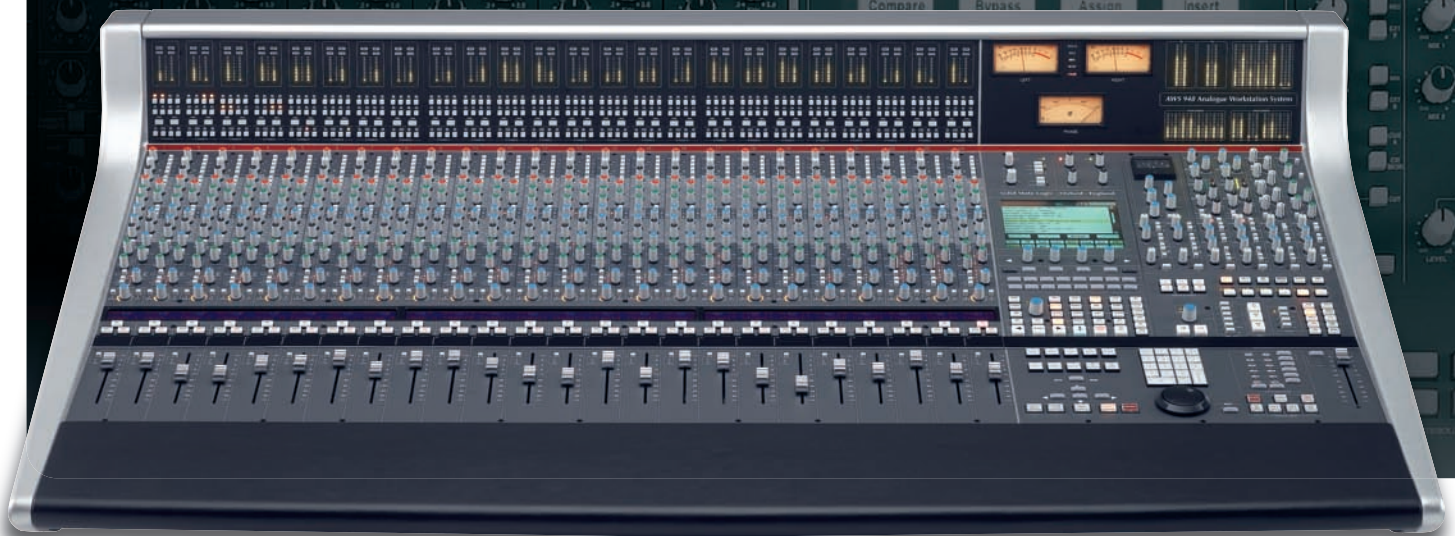


AWS Analogue Workstation System



AWS 948



AWS 924

Digital control for analogue souls

AWS. This is SSL.

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N

Digital control for analogue souls

2004年に発売開始した AWS (Analogue Workstation System) は、SSL の SuperAnalogue™テクノロジーと DAWコントロール機能を融合させた画期的なシステムです。今日まで 550台以上の AWSが世界中のレコーディングアーティスト、プロデューサー、エンジニアに愛され、今日のワークフローを確立しました。そして、2010年 AWS 900+ SE が新たに AWS 924、AWS 948 へ進化しました。

新しいAWSは、24chフレームに24chインプットのAWS 924と48chインプットのAWS 948となり、ミッドレンジサイズのコマースシャルレコーディングスタジオや、プロダクションスタジオに最適のコンソールです。どちらのモデルもSuperAnalogue™テクノロジーを用いた、SuperAnalogue™マイクプリ、デュアルカーブEQが全てのチャンネルに装備されています。そして2つのアサインラブルダイナミクス、伝統のステレオバスコンプレッサー、TotalRecall™、5.1chモニターリング機能、SSLオートメーションが装備されています。

新たに 'A-FADA' というDAWのオートメーションデータをアナログフェーダーで再現する機能が生まれました。

AWS 924 と AWS 948 は、イーサネットにて2台までのDAWと接続可能です。AWSは専用のDAWトランスポートキー、V-Potマルチファンクションエンコーダー、デジタルスクリブルストリップ、DAWフェーダーモード、Plug-In用TFTディスプレイなどエレガントで人間工学的なDAWコントロール環境が装備されています。プロジェクト/セッション管理は、SSLのLogictivityブラウザーで管理できます。

AWSは、SuperAnalogue™コンソールです。オーディオスペックは他社製品にも目標とされる程のパフォーマンスを提供します。他に類をみない程の低い歪み率、ノイズレベル、クロストークレベルなどオーディオクオリティを可能な限り原音に忠実に再現します。伝説的なヘッドルームは、オーディオのあらゆるニュアンスを再現し、エンジニアの表現力を最大限のものにいたします。

Key Features

- SuperAnalogue™コンソールとDAWコントローラーの融合。
- SSL SuperAnalogue™ミックスバス回路は、ピュアなオーディオクオリティをもたらします。
- 革新的で3つのシグナルフローモードが選択できるデュアルシグナルバス (948 only)。
- AWS 948 は、48のインプットを装備します。
IN-LINE TRACKING = 1チャンネル毎に1つのマイクインプットと1つのラインインプット
IN-LINE MIX = 1チャンネル毎にデュアルモノラインインプット
STEREO MIX = 1チャンネル毎に1系統のステレオラインインプット
- 新しい 'A-FADA' モード - アナログフェーダーが DAW オートメーションに追従。
- 4バンドチャンネルEQ、アサインラブル可能なダイナミクスとSSLマスターバスコンプレッサー。
- HF/LFはE/Gシリーズのキャラクターを切替え可能な4バンドEQ。
- ベースマネージメントを含む5.1サラウンドモニターリングとモニターキャリブレーション機能。
- MIDI over EthernetによるマルチレイヤーDAWワークステーションコントロール。
- コンソールチャンネル表示及びDAWトラック名称表示用のデジタルスクリブルストリップ。
- SSL LogictivityリモートブラウザシステムとSDカードを使用しての洗練されたプロジェクトマネージメント。
- SSL独自の 'TR Autoscan' 機能を装備したTotalRecall™システム。
- 環境に配慮した省エネルギーデザイン。
- 小規模のコントロールルームにフィットするコンパクトな24フェーダーフレーム。

オリジナルのAWS 900が発売されて以来、何百ものプライベートスタジオや商業スタジオにAWS 900コンソールが導入されています。ここに何人かのAWSを所有するオーナーのコメントを紹介します。

“SSLがこのコンパクトなデザインを現実にした時、私のすべての夢がかなった。AWSのアナログインプットとお気に入りの機材との組み合わせは本当に信じられないくらいパワフルで世界で最高のスペックを引き出してくれます。コンソールはただ驚くべきです。アナログコンソールとDAWコントローラーの融合は、ただ素晴らしい、本当に素晴らしい！”

David Tickle, プロデューサー

“AWS 900 は、初めてしかも抜きに出て私たちに高品質なアナログサミングをもたらしました。これにSSLの評判の良いオートメーション、モニターリング機能、EQとSuperAnalogue™マイクプリアンプが加わり最高のパッケージです。”

Tal Herzberg, エンジニア & ミキサー

“私はアナログでミキシングするのが大好きです。私にとってスペースファクターは重要な要素であり、その他のことはミックス作業に関する事です。AWSはそれをすべてかなえてくれていますが、コンパクトなパッケージでありながらも巨大なミキシングコンソールにひけを取らないサウンドを持ち合わせているのが素晴らしいですね。”

Simon Gogerly, プロデューサー & ミキサー

“ライバルはないね。なぜなら他に何も無いから。”

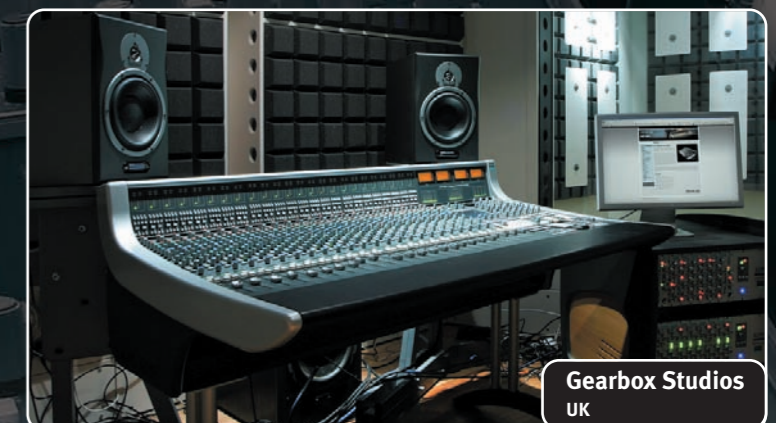
Mike Elizondo, プロデューサー



785 Studio
USA



HUB II
UK



Gearbox Studios
UK

AWS 924 Channel

AWS 924 は AWS 900 のクラシックなデザインを継承しています。

Input

AWS 924 のチャンネルインプットセクションは ± 20 dB のゲインをもつバランスラインインプットとマイクゲインのコントロール (+15dB から +75dB)、フェーズリバース、48V ファンタム電源をもったワールドクラスの SuperAnalogue™ マイクアンプを装備しています。フリップコントロールはマイク/ラインインプットの入力切替えです。

EQ

AWS 924 の EQ セクションは、伝説の XL9000 K シリーズコンソールと現在成功を収めている Duality と同等の機能を持ち、'E シリーズ' カーブ と 'G シリーズ' カーブ の 2 種類の EQ が各チャンネルに装備されています。各チャンネルにはインサートポイントがあり、INS IN スイッチでチャンネルにインサートしたい外部機器のルーティングが行えます。PRE はインサートポイントが EQ セクションの前段に設定されます。ダイナミクスチップと CHOP のルーティングキーとともに EQ、INSERT とダイナミクスブロックの順番を入れ替える事ができます。

- **HPF** : 18dB/オクターブのハイパスフィルターです。
- **G-EQ Curve switch** : デフォルトで SSL 'E Series' タイプ、切り替えて 'G Series' EQ のカーブも選択可能な G-EQ スイッチも装備しています。
- **HF** : ベルスイッチによって固定 Q パラメトリックにも切り換え可能な高周波数帯域のシェルビング EQ です。
- **HMF** : 高周波数帯域のパラメトリックミッドバンド EQ です。
- **LMF** : 低周波数帯域のパラメトリックミッドバンド EQ です。
- **LF** : ベルスイッチによって固定 Q パラメトリックにも切り替え可能な低周波数帯域のシェルビング EQ です。

Routing & Sends

各チャンネルは 2 つのメインステレオバス (RECORD と MIX) にアクセスでき、さらに 2 つの Cueバスと 4 つのモノ FXセンドを装備しています。AWS のチャンネルは直接チャンネルアウトプット (CHOP) を装備し、また 8 つの独立したトラックバスに送る事もできます。SSL 独自の 'EFXセンドバス' システムはセンドコントロールが自由にアサインできる事で全チャンネルの創造性が大きく向上します。

Pan

AWS 924 は 精密な L/R パンコントロールを持っています。

Digital Scribble Strips

デジタルスクリブルストリップディスプレイは、アナログフォーカスモード時にはアナログシグナルバス名を表示します。また DAW モード時には選択したファンクションに応じて DAW からの情報が表示されます。

Fader

TAWS は 100mm のタッチセンシティブのモータライズド・フェーダーを装備しています。アナログモード時、フェーダーはチャンネルインプットまたは DAW のリターンバスのいずれかのアナログシグナルバスをコントロールします。DAW モード時はチャンネルレベルコントロールがデフォルトとなっていますが、他の DAW パラメータ用にも使用する事ができます。



AWS 948 Channel

AWS 948 は、AWS 924 と同様の 24 フェーダーの大きさのまま、各チャンネルに 1 つのマイクアンプ、2 系統のラインレベルインプット、新しいステレオ EQ としてステレオインサートを装備した独自のデュアルバスチャンネルストリップデザインになっています。この革新的デザインの新たなチャンネルは 3 種類のオペレーティングモードで使用できます。Stereo Mix、In-Line Mix、In-Line Tracking これらのモードは今日の多種多様な制作環境に対応できるよう豊富なワークフローオプションを提供します。

IN-LINE TRACKING

In-Line Tracking は、マイクまたはラインシグナルのいずれかを CHOP (Channel Direct Output) とトラックバスへ送る AWS 924 と同様です。通常このシグナルは V-Pot によってレベルコントロールされます。'フェーダーフリップ' 機能で V-Pot の代わりにフェーダーを使用する事ができます。このセットアップでは通常 2 目の入力シグナル (例えば DAW からのリターンソースなど) はフェーダー側にアサインされます。

IN-LINE MIX

In-Line Mix は、モノシグナルを扱うモードです。しかしながら AWS 948 はモジュールに 2 目のインプットも備えており、デュアルモノモードで使用が可能です。通常のインプットシグナルはフェーダーでレベルコントロールされ、2 目のインプットシグナルは V-Pot でレベルコントロールされます。全てのモジュールを In-Line Mix モードにセットアップすると 48ch までの Mix が可能となります。コンソールモードでオートメーションの使用時は、V-Pot と専用 Solo/Cut キーもオートメーションの対象となります。EQ やインサートセンド/リターンはどちらか必要なバスで使用可能です。

STEREO MIX

Stereo Mix モードは、ステレオモジュールとして機能します。プロセッシングは、4 バンドステレオ EQ、ステレオインサートポイントとして機能し、パンコントロールは L/R のバランスコントロールと、ワイドコントロールが可能となります。FX センドならびに CHOP (Channel Direct Output) へは L/R のシグナルがサミングされ送られます。

チャンネルのコンフィグレーションは、センターセクションの TFT スクリーンとソフトキーを使用してセットアップ可能です。それぞれチャンネル毎でのセットアップが可能で、今日のワークフローに最も適した状態でセッションが行えます。モノソースはモノチャンネル (In-Line Tracking モード または In-Line Mix モード) で、ステレオソースはステレオチャンネル (Stereo Mix モード) が使用できます。これらの設定がセッション単位でまたはセッション中にいつでも変更/設定が可能です。

Input Section

AWS 948 のチャンネルインプットセクションは ± 20 dB のゲインをもつ 2 系統のバランスラインインプットとマイクゲインのコントロール (+15dB から +75dB)、フェーズリバース、48V ファンタム電源をもつワールドクラスの SuperAnalogue™ マイクアンプを装備しています。インサートのルーティング機能は 3 種類のオペレーティングモードにより変化します。

EQ Section

AWS 948 に装備されているステレオ EQ は AWS 924 の EQ と音質的に全く同等です。AWS 948 のチャンネル EQ はさらに HF/LF として Mid Frequency のバンドが独立して E シリーズ と G シリーズのカーブが切替可能になっています。

Routing & Sends

各チャンネルからは 2 つのメインステレオバス (RECORD と MIX) へソースを送れます。また 2 系統のステレオキューバスと 4 系統のモノ FXセンドが装備されています。どの AWS チャンネルも直接チャンネルアウトプット (CHOP) を装備し、8 つの独立したトラックバスに送る事もできます。SSL 独自の 'EFX' システムはセンドコントロールが自由にアサインできることで全チャンネルの創造性が大きく向上します。

Pan/Width

In-Line Mix モードと In-Line Tracking モード時のパンコントロールは、標準の L/R パンコントロールになります。Stereo Mix モード時の PAN コントロールは、ステレオワイドコントロールと L/R 入力バランスコントロールが V-Pot によってコントロールできるようになります。

Digital Scribble Strips

デジタルスクリブルストリップディスプレイは、アナログフォーカスモード時にはアナログシグナルバス名を表示します。また DAW モード時には選択したファンクションに応じて DAW からの情報が表示されます。



Versatile Centre Section

Stereo Bus Compressor

AWSセンターセクションのステレオバスコンプレッサーは、伝統のGシリーズに基づいていますが、RECバスまたはMIXバスのどちらかに割り付けることが出来ます。ステレオバスコンプレッサーをONにするとすぐに、明瞭さを損なうことなく凝集感と力強さを得られ、SuperAnalogue™クオリティーのあなたのミックスにSSL伝統の“粘り感”をもたらします。入出力回路の改良により、世界中のトップエンジニアによって生み出された数多くのヒットミックスで聞くことの出来るダイナミクスのキャラクターをそのままに、オーディオ特性を大幅に向上しています。

Assignable Dynamics Processing

コンプレッサーとゲート/エキスパンダーに分かれているSSLチャンネルダイナミクスが2つ装備されており、どのチャンネルにでも割り付けることが出来ます。このアサイン可能なチャンネルダイナミクスは、SSLスタンダードのRMSコンプレッサーで、'PK' ボタンを押すことでハードニーキャラクターのピークセンシングタイプに切り替えられます。

エキスパンダーと**ゲート**は、レンジ、スレッシュホールド、リリースタイムとホールドタイムがそれぞれ独立したコントロールとなっています。'EXP' ボタンを押すことでエキスパンションに切り替わります。またそれぞれのモジュールに独立した専用のメーターとファストアタックボタン、キーインボタンが装備されています。

Communications

AWSは包括的なトークバックルーティングや専用の独立したフォルドバックセンド機能を持っており、GPIO機能と連携しています。また、**SLATE**機能や有名なリッスンマイク入力(LMC)、**RED Light**機能なども標準で装備されています。

Monitoring & Metering

柔軟なエクスターナルソースセレクター・セクションはサミング可能で4系統までの5.1chソース、4系統のステレオインプットソースをコントロールルーム、スタジオスピーカー、フォルドバック送りのいずれかにアサイン、ルーティングが可能です。モニターセクションには6チャンネルのモニターインサートポイントがあります。Mixバス/Recバス用のステレオVUメーターとフェイズメーターがあり、その他5.1chのモニター、トラックバス、Cueセンド、FXセンドなどの専用パーメーターがあります。6チャンネル分の外部メーター用出力があり、サードパーティーのメーター類も使用可能です。

各チャンネルにはステレオソースが表示可能なデュアル12セグメントメーターが装備されています。AWSのその他の機能として、**AUTOCUE**機能、**モニターボットキャリブレーション**、**SOLO ISOLATE**、2台までのDAWコントロール機能、そして**SOFT BOOT** パワーサイクリング機能があります。また、レーザーエンフリー・パンチインレコードモニタリングが標準で装備され、しかもこれはアナログです！

TotalRecall™

TotalRecall™は、SSLの特許技術であり特定のプロジェクトやセッションにおけるアナログコンソールのコントロールセッティングを保存したりリコールすることをアシストします。システムは現在のコンソールセッティングのスナップショットを取り、SSL Logictivityブラウザーを介しそのスナップショットを保存します。この情報のグラフィック表示はオペレーターがコントロールを手動でリセットすることが可能なようセンターセクションのTFTディスプレイに表示されます。AWSは、リコール時間をセーブする'**TR Autoscan**'機能を持ち、設定が変更されたチャンネルのみ表示されるようになっています。

Summing Bus Injects for the CUE and FX busses

今日のワークフローに対応するためAWSコンソールはDAWからのアディショナルトラックをCueまたはFXセンドバスにサミングできるインジェクトポイントがあります。

Unrivalled DAW control

AWSは、パワフルなラージフォーマットアナログコンソール機能をコンパクトなコンソールデザインで提供するかたわら、2台までのDAWコントロール機能を有しています。

AWSは、Pro Tools™、Logic Audio™、Nuendo™、Sonar™を含む多くの主要なDAWアプリケーションの重要なレコーディング、ルーティング、ミキシングそしてエディティングファンクションのハンズオンコントロールを提供します。

DAW Mixer & Environment Control

DAWのチャンネルレベルコントロール、センドレベルコントロールまたルーティング機能などのファンクションを、AWSのチャンネルV-Pot(ロータリーエンコーダー)にアサイン可能です。チャンネルレベルまたセンドレベルコントロールは、V-Potからチャンネルフェーダーへフリップ(入替え)が可能です。センターセクションDAWコントロールセクションに、5つのDAWウインドセレクトキーがあります。これは編集画面や、DAW Mix画面などの表示切替えに素早くアクセスできる様用意されています。その他**ESCAPE**、**UNDO**、**SAVE**、**ENTER**などのファンクションキーなどのスイッチが多数あり、これらのスイッチ類の組合せは、ほとんどすべての通常作業においてキーボードとマウス操作から解放されます。

DAW Transport Control

専用のトランスポートスイッチは簡単に**PLAY**、**RECORD**、**REWIND**、**FAST FORWARD**、**STOP**などにアクセスできます。さらにもう10個のスイッチはよく使用する様々なショートカットキーに利用できます。またズーム機能やナビゲーション、DAWのオブジェクト選択も含んでいます。ジョグ/シャトルホイールはスクラブやトラックナビゲーション機能にも対応しています。

Plug-in Control

コンソールの**センターセクション**にある**DAWコントロールパネル**には、DAWのステータスとプラグインパラメータ、コンソールのセットアップインフォメーションを表示する高品質なTFTディスプレイが装備されています。

ディスプレイ下には、**DAW HUIプラグイン/プロセスコントローラ**：DAWから自動でマッピングされる4つのロータリーエンコーダと統合されたプッシュ/プルスイッチと4つのアサインキーがあります。さらにページアップ/ダウンコントロール用に2つの専用キーがあります。Mackie Controlプロトコルを使用したプラグインは、V-Pot/フェーダーを使用してのコントロールができます。

Automation

AWS 924 と 948 は2つのオートメーションシステムアプローチを備えています：

AWSomation

SSL AWSomation は、GシリーズやKシリーズのUltimationがベースとなっている完全なアナログのオートメーションシステムです。AWSomationは、クラシックSSLのグラフィクスや感覚を利用し、世界中の何千ものオーディオプロフェッショナル達に馴染み深いオートメーションシステムです。100mmのモータライズドフェーダーを使用し正確、かつ直感的に操作できるレベルコントロール・オートメーションを提供します。

A-FADA

最新の'A-FADA'機能はDAWのオートメーションをアナログフェーダーで追従させる新しい機能です。この独自のアイデアは、DAWでのワークフローの利点を生かしながら、アナログオーディオバスでの音質的なアドバンテージをすべて得る事ができます。



*Pro Tools™, Logic Audio™, Nuendo™ and Sonar™ are trademarks of their respective owners. No endorsement of affiliation is implied.

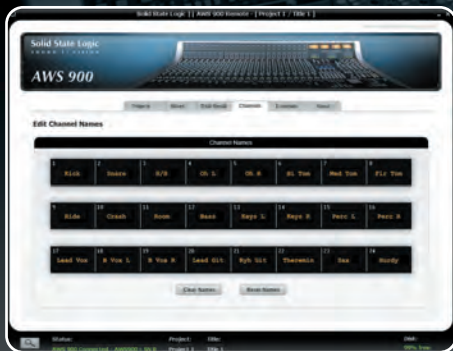
AWS

Logictivity Browser Software

プロジェクト/セッションデータはSDカードに保存されます。

アーカイブされたコンソールデータは標準のコンピュータのデータとして扱う事ができ、セッション間のデータ交換を簡単に行えるようにE-mailで送ったり、USBメモリー等に転送したりできます。AWSは最初にSSL Dualityで発表した 'Logictivity Browser' のコンセプトを持っています。これはAWSがイーサネットで接続するだけで標準のコンピュータに接続する事を可能にします。ブラウザのソフトウェアはMacまたはPCの両方のプラットフォーム上で動作するJavaアプリケーションです。現在 **Total Recall™** と **AWSomation** データの保存、名前の変更、レストレーションを含む機能に対応しており、チャンネルのスクリブルストリップ名リストに名前を追加したり、多くのスタジオセッションプロジェクトを管理するツールとして利用できます。

さらにAWSは、X-Rackアウトボード使用時に、X-Rack TotalRecall™ データとコンソールのTotalRecall™ データとを一元管理する事が可能です。



Solid State Logic

International HQ: Begbroke, Oxford, England OX5 1RU · Tel +44 (0)1865 842300 · Email sales@solidstatellogic.com
 France: 7 bis de la Victoire, 93150 Le Blanc Mesnil, France · Tel +33 (0)1 48 67 84 85 · Email frsales@solidstatellogic.com
 Italy: Via Timavo 34, 20124 Milano, Italy · Tel +39 0392 328094 · Email itasales@solidstatellogic.com
 New York: 320 West 46th Street, New York, NY 10036 · Tel +1 212 315 1111 · Email nysales@solidstatellogic.com
 Los Angeles: 3700 Wilshire Boulevard, Suite 720, LA, CA 90010 · Tel +1 213 249 9229 · Email lasales@solidstatellogic.com
 Japan: 3-55-14 Sendagaya, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051 · Tel +81 (0)3 5474 1144 · Email jpsales@solidstatellogic.com
 Bangkok: 82/509 Prachachuen Rd, Ladyao, Jatujak, Bangkok, 10900 Thailand · Tel +66 2 587 5111 · Email akaraphol@ssl-bkk.com
 Singapore: 1 Bukit Batok Crescent, 04-08 Wcega Plaza, Singapore 658064 · Tel +65 6438 2272 · Email chankw@singnet.com.sg

© Solid State Logic. All Rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions. Solid State Logic and SSL are trademarks of Solid State Logic. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Oxford, England. Solid State Logic has a policy of continual product enhancement and reserves the right to alter specifications without notice. E&OE.

実際の製品は写真のものと若干異なる場合があります。また性能向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © 2010 Solid State Logic Japan K.K. ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14 Tel: 03-5474-1144 Fax: 03-5474-1147

AWS. This is SSL.

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N